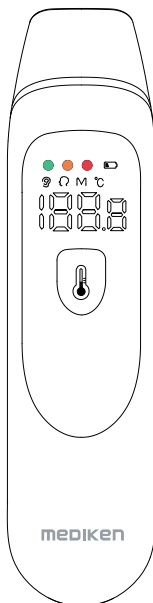


赤外線体温計

PC809 取扱説明書



この度は、PC809赤外線体温計をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

- 安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 本書はいつもお手元においてご使用ください。
- 本書に記載しているイラストはイメージ図です。

目次

安全上のご注意.....	1
記号について.....	2
製品紹介.....	3
この体温計の動作原理.....	3
機能.....	3
お使いいただく前に.....	4
各部の名前.....	4
体温の測り方.....	5
電源のOFF.....	8
メモリーの確認.....	9
ランプの温度範囲の設定.....	9
音のオン・オフ.....	10
電池交換.....	10
保管とお手入れ.....	11
故障かな口と思ったら.....	12
仕様.....	13
EMC 技術資料.....	14
保証規定.....	17
お問い合わせフォーム.....	17

安全上のご注意

本製品を安全に、正しくお使いいただくために、次の事項に従って使用してください。

！ 警告

- 病気の診断・治療に本製品を使用しないでください。測定結果はあくまでも参考値です。健康上の問題があると疑われる場合は、医師の診察を受けてください。
- 測定結果の体温だけで、健康状態を判断しないようお願いいたします。
- 特に幼児の場合、高熱があるときや熱が長引くときは、医師の診察を受けてください。
- 12歳以下の子供の手の届かないところに保管してください。
- 長期間（1ヶ月以上）使用しないときは、本体から電池を取り外してください。漏液、発熱、破裂などを起こし、機器を破損させる原因になります。

！ 禁忌・禁止

- 赤外線センサーを汚さないでください。
- 外耳炎・中耳炎など耳に疾患のある方は耳測定モードでは使用しないでください。感染や症状の悪化の原因になります。
- プローブを耳に無理に挿入しないでください。けがの原因になります。

！ 注意

- 取扱説明書をよく読み、十分に理解した上でご使用ください。
- 本製品に強いショックを与えたり、落としたり、踏んだり、振動を与えたりしないでください。
- 本製品を分解、修理、改造しないでください。
- テレビ、電子レンジ、携帯電話に近づけないでください。
- 本製品は防水ではありません。本体を水などの液体に浸したり、水蒸気、煮沸での消毒を行わないでください。本製品が蒸気で濡れた場合は、自然に乾くまでお待ちいただき、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。（☞「保管とお手入れ」（第11ページ））
- 赤外線センサーが汚れた場合は、乾いた柔らかい布や綿棒で軽く拭いてください。ティッシュペーパーやペーパータオルで拭かないでください。ベンジン、シンナー等の溶剤で洗浄しないでください。赤外線センサーに指で触れたり、息を吹きかけたりしないでください。（☞「保管とお手入れ」（第11ページ））
- 仕様条件の範囲外で使用されると、エラーの原因となります。（☞「仕様」（第13ページ））
- 周囲温度により、ある程度の測定誤差が生じることがあります。できるだけ同じ場所、同じ時間帯など、一定の測定環境下でご使用ください。体温測定をする30分前には、測定者のいる同室に体温計を置き、周囲温度に慣らしてください。または10℃～40℃の環境に最低30分置いてから使用してください。
- 本製品が濡れた状態で使用しないでください。
- 食事中、飲酒時、運動時、授乳直後の測定はお控えください。運動、入浴および食事などの後は、30分以上経過し安静にしてから測定してください。

- 測定の前に、製品の外観（特に赤外線センサー）に変形・破損がないことを確認してください。
- 体温を測るときは、額に汗や化粧品、傷口がない状態、耳の中が清潔な状態であることを確認してください。
- 体温を測るとき、本体を長時間握っている場合、手の熱が本製品に伝わり、体温の測定値が正しく表示されないことがあります。
- 次の要素が、体温に影響を及ぼすことがあります。
 - ・個人の代謝・年齢・服装・外気温・時間帯・活動
 - ・また、温風機やエアコン等の空調機器が作動している部屋では正確に測定できない場合があります。
- 次の場合は、体温測定を3回行い、最も高い数値を参照してください。
 - ・測定者が乳幼児の場合や、免疫不全をお持ちであったり、熱やその他重篤な症状である場合。
 - ・使用者が体温計操作に慣れておらず、安定した測定結果を出せない場合
 - ・測定した数値が異常に低い場合
- 電池残量が少なくなると正確に測定できない場合があります。新しい電池に交換してから再度測定してください。
- 電池はプラスとマイナスの向きに注意して挿入してください。間違えて入れると、本体が故障する原因になります。
- 電池は高温高温環境に晒さないでください。破裂の恐れがあります。
- 本製品と使用済みの電池を廃棄するときは、お住まいの市区町村の指導に従ってください。
- 出荷前検査時の測定値がメモリーに残っている場合がございます。
- プローブカバーをなくさないように注意していただき、他の物で代用することはお控えください。

記号について

	BF形装着部	電撃に対する保護の程度が、BF形装着部であることを示しています。IEC60601-1規格に規定される要求事項に適合しています。取扱説明書および添付文書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
	取扱説明書に従う	操作方法の詳細につきましては、取扱説明書をご参照ください。
	PAPマーク	21：PAP（ダンボール）となっています。段ボールがリサイクル可能であることを示します。
	廃電気・電子製品 (WEEE)に関する指令	電子製品を一般ゴミとして処分しないでください。
	ロット番号	ロットを識別するための製造元のロット番号を示します。
IP22	IP22	垂直から15°以内の水滴に対応した防水規格です。
	シリアル番号	特定の医療機器を識別するための製造元のシリアル番号を示します。

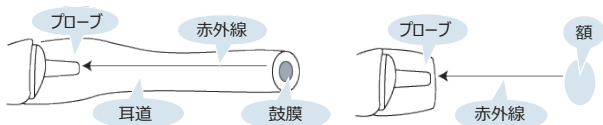
製品紹介

PC809赤外線体温計は耳内の鼓膜、または額から放射される赤外線の量をもとに体温を測定するための機器です。本製品は、家庭でのご利用、病院、医療機関、ヘルスケアなどに適しています。

この体温計の動作原理

対象物から放射される赤外線を赤外線センサーで捉え、温度に変換します。

本製品は、額の中心に当て測定した表面温度、または耳で測定した温度を、舌下の温度とみなして換算する測定モードを備えています。



機能

本製品は実用的な使用を目的として設計されておりますが、医師の診察に代わるものではありません。

【２種類の測定モード】

本製品は耳と額での検温を切り替えて測定できます。

額測定モードの測定は、年齢を問わず誰でも使用できます。

耳測定モードの測定は、3ヶ月未満の乳児へのご使用はしないでください。

【メモリーモード】

過去の32回分の測定結果を記録します。

【ミュート機能】

ブザー用スピーカーのオン/オフを切り替えることができます。

【温度マーク】

ステータスライト緑・オレンジ・赤によって三段階の測定温度を示します。

【大型バックライト機能】

暗い場所でも測定結果が確認できます。

お使いいただく前に……製品をご確認ください

本体	1 個
添付文書	1 枚
取扱説明書	2 冊
収納ポーチ	1 個
単 4 形アルカリ乾電池	2 本

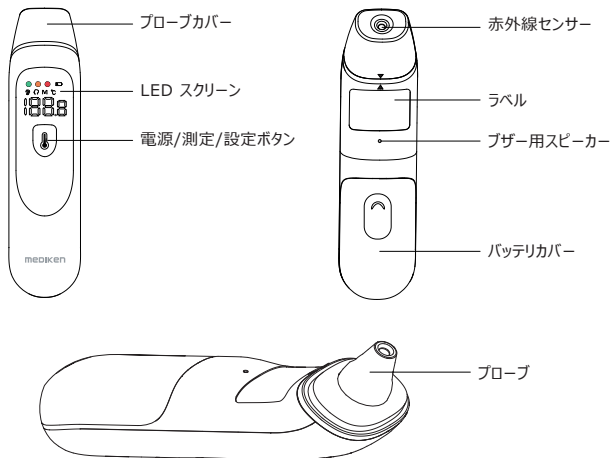
製品の点検

①いつも清潔にしてご使用ください。製品の外観（特に赤外線センサー）に変形・破損がないことを確認してください。

②電池を入れてください。☞「電池交換」

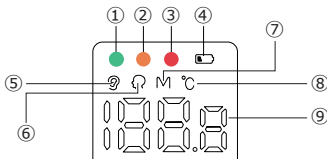
- 本体の底にあるバッテリーカバーを開けます。
- 電池のプラス、マイナス（＋極・－極）を正しく装着します。
- バッテリーカバーを閉じます。

各部の名前



LED スクリーンに表示される情報

LED スクリーンには、測定結果のほかに、次のような情報が表示されることがあります。



① ステータスライト（緑）	② ステータスライト（オレンジ）
③ ステータスライト（赤）	④ 低バッテリーインジケーター
⑤ 耳測定モード	⑥ 額測定モード
⑦ メモリーモード	⑧ 摂氏
⑨ 温度表示	

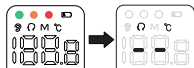
体温の測り方

額測定モードでの測り方

- 1 プローブカバーがしっかりと本体に装着されていることを確認する
 - 赤外線センサーが汚れていないことを確認してください。



- 2 電源/測定/設定ボタンを押す
 - すべてのマークや文字がLED スクリーンに表示された後、前回の測定温度が出てきます。
 - その後、「ピッ」と音が鳴り横線「—」と表示され、測定待ち状態に入ります。



- 3 赤外線センサーを額の中心に当て、本体を持つ
 - 測定中は体を動かさないでください。
 - 額の表面に強く押し込まないでください。
 - 額に髪や汗や化粧品、傷口がなく、清潔な状態であることを確認してください。



4 再度電源/測定/設定ボタンを押す

- 1 秒以内に「ピー」と音が鳴り、測定が完了します。



5 本体を額から離し、測定結果を確認する

- ディスプレイに「 Ω 」額測定モードと表示されます。
- 結果が $32.0^{\circ}\text{C} \sim 37.4^{\circ}\text{C}$ の場合は、LED スクリーンに「 $\bullet$ 」と表示されます。
- 結果が $37.5^{\circ}\text{C} \sim 37.9^{\circ}\text{C}$ の場合は、LED スクリーンに「 $\bullet$ 」と表示されます。
- 結果が $38.0^{\circ}\text{C} \sim 43.0^{\circ}\text{C}$ の場合は、LED スクリーンに「 $\bullet$ 」と表示され、「ピピピッ」と連続した短いピープ音が鳴ります。
- 繰り返し測定する場合には、約 3 秒空けてから行ってください。
- LED スクリーンのバックライトは30秒間点灯します。



6 測定完了

- 電源/測定/設定ボタンを3～5秒間長押しすると電源OFFになります。
- または30秒間何も操作しない場合は、「ピッ」と音が鳴り自動で電源が切れます。
- 測定値は自動的にメモリに保存されます。



↓ 5 秒間長押し

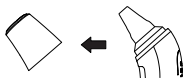


耳測定モードでの測り方

注意：生後3ヶ月未満の乳児への使用はお控えください。

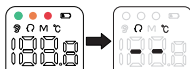
1 プローブカバーを取り外す

- 赤外線センサーが汚れていないことを確認してください。



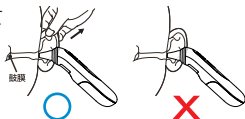
2 電源/測定/設定ボタンを押す

- すべてのマークや文字がLED スクリーンに表示された後、前回の測定温度が出てきます。
- その後、「ピッ」と音が鳴り横線「—」と表示され、測定待ち状態に入ります。



3 耳を軽く引っ張り、プローブを鼓膜に向かってゆっくりとまっすぐに耳道に挿入する

- 耳を後方に引っざると、赤外線センサーが鼓膜の方に向きやすくなります。
- 測定中は体を動かさないでください。
- 耳の皮膚に強く押し込まないでください。
- 耳に耳垢や異物がなく、清潔な状態であることを確認してください。



4 再度電源/測定/設定ボタンを押す

- 1秒以内に「ピー」と音が鳴り、測定が完了します。



5 本体を耳道から離し、測定結果を確認する

- LED スクリーンに「⑨」耳測定モードと表示されます。
- 結果が32.0℃～37.4℃の場合は、LED スクリーンに「●」と表示されます。
- 結果が37.5℃～37.9℃の場合は、LED スクリーンに「●」と表示されます。
- 結果が38.0℃～43.0℃の場合は、LED スクリーンに「●」と表示され、「ピピピッ」と連続した短いピープ音が鳴ります。
- 繰り返し測定する場合には、約3秒空けてから行ってください。
- LED スクリーンのバックライトは30秒間点灯します。



6 測定完了

- 電源/測定/設定ボタンを3～5秒間長押しすると電源OFFになります。
- または30秒間何も操作しない場合は、「ピッ」と音が鳴り自動で電源が切れます。
- 測定値は自動的にメモリに保存されます。



5秒間長押し



<乳幼児の体温測定時>

子供の手足や頭部を固定し耳を軽く引っ張り、プローブをゆっくりと優しく入れてください。

子供が寝ている状態で測定する時は、頭部を軽く抑え、動かないようにしてください。



測定時の注意・ポイント

- 本製品は額または耳の温度を舌下で測定した体温に換算したものです。わきで測る体温の数値と比べると、舌下体温は高くなり温度差が生じる場合があります。(個人差があります)
同じ体温計で、同じ時間帯、同じ測定部位での計測が平熱を知るポイントです。

測定部位	平熱 (℃)
額	36.1～37.5
外耳	35.8～38.0
口腔内	35.5～37.5
肛門	36.6～38.0
腋の下	34.7～37.3

年齢層	平熱 (℃)
0歳～2歳	36.4～38.0
3歳～10歳	36.1～37.8
11歳～65歳	35.9～37.6
65歳以上	35.8～37.5

測定部位別平熱範囲

年齢別平熱範囲

- 赤外線の体温反映率は部位によって異なり、体温反映率が最も高い動脈を感知しない場合、体温が低く測定される場合があります。(体温反映率は人によって異なります)
- 本体を長時間手に持っていると、環境温度が高いと誤認識してしまい、体温が通常より低く表示される恐れがありますのでお控えください。

正しく測るために

- バッテリーを交換した後、15分待ってから測定してください。(すぐに測定すると、測定値の誤差が大きいです。)
- 赤外線センサーが常に清潔で破損していないことを確認してください。
- 額に髪や汗や化粧品、傷口がなく、清潔な状態であることを確認してください。耳に耳垢や異物がない清潔な状態であることを確認してください。
- 測定の前に、直近30分以内に入浴や運動をしていないこと、安定した環境(10℃～40℃の場所)で5分以上経過していることを確認してください。
- 測定は3回行うことをお勧めします。3回の測定で値が異なる場合は、一番高い温度を体温として参照してください。

電源のOFF

- 電源/測定/設定ボタンを約3～5秒間押し続けると電源オフになります。
- オートパワーオフ機能：電源が入った状態で約30秒間放置すると、電源が自動的にOFFになります。

メモリーの確認

本製品は、直近32回の体温の測定値を自動的に保存します。メモリーが一杯になると、最も古い測定値から消去されます。

- 1 電源オフの状態ですべて電源/測定/設定ボタンを「M」のマークが表示されるまで押し続けます。
- 2 もう一度電源/測定/設定ボタンを押すとメモリー番号が表示されてから、過去の測定値を表示されます。過去の測定値を表示するには、電源/測定/設定ボタンを繰り返し押します。
- 3 メモリーを見た後電源/測定/設定ボタンを約3～5秒間押し続けると電源オフになります。(オートパワーオフもできます)

ランプの温度範囲の設定

本製品の測定温度範囲は32.0～43.0℃となります。ランプの色は測定結果によって異なります。詳細は次の表を参照してください。

ランプの色	測定温度(初期設定)
	≤37.4℃
	37.5～37.9℃
	≥38.0℃

- 
- ①最小測定値32.0℃ ②37.5℃ ③38.0℃ ④最大測定値43℃
(変更不可) (変更可能) (変更可能) (変更不可)

本製品の測定温度範囲は32.0～43.0℃となるため、①と④の値は変更不可です。

②と③の値は変更可能です。②と③の値を変更することによって、カラー表示の温度範囲を調節することができます。

②の値を変更する方法：「」の温度範囲を変更する場合、電源オフの状態ですべて電源/測定/設定ボタンを「」のマークが表示されるまで押し続けます。「」のマークが表示されたら、再度電源/測定/設定ボタンを押すと37.5℃(ステータスライト(オレンジ)の最小値)と表示されます。そして、もう一回電源/測定/設定ボタンを押すと数値が37.5℃から37.6℃になります。繰り返し押すと37.9℃まで変更することができます。最後に、変更終了後に3～5秒間ほど長押しすると設定が自動で保存されて電源がオフになります。(オートパワーオフもできます)

③の値を変更する方法：「」の温度範囲を変更する場合、電源オフの状態ですべて電源/測定/設定ボタンを「」のマークが表示されるまで押し続けます。「」のマークが表示されたら、再度電源/測定/設定ボタンを押すと38.0℃(ステータスライト(赤)の最小値)と表示されます。そして、もう一回電源/測定/設定ボタンを押すと数値が38.0℃から38.1℃になります。繰り返し押すと38.9℃まで変更することができます。最後に、変更終了後に5秒ほど長押しすると設定が自動で保存されて電源がオフになります。(オートパワーオフもできます)

音のオン・オフ

お買い上げ時、音量設定がオンに設定されています。以下の手順で、音が鳴らないように設定できます。

- 1 電源オフの状態ですべて電源/測定/設定ボタンを「ON」または「OFF」のマークが表示されるまで押し続けます。
- 2 電源/測定/設定ボタンを押すたびに「ON」と「OFF」の表示を切り替えることができます。
- 3 切り替えが終わったら3～5秒間長押しすると設定は自動的に保存されて電源がオフになります。

電池交換

本製品は、単4形アルカリ乾電池を使用しています。

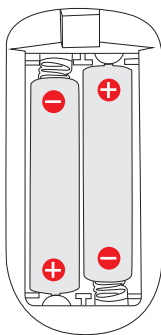
お買い求め時に付属されている電池はお試用です。測定できる回数が少なくなる場合があります。

電池残量不足の場合、「」マークが表示されます。

「」マークが表示されたら、以下の手順に従って電池を交換してください。

- 1 バッテリーカバーを外します。
 - 外しにくい場合、布でバッテリーカバーを覆って外してください。
- 2 手で優しく電池を取り外します。
 - 金属製の工具を使わないでください。周囲の部品を傷つける恐れがあります。
- 3 電池のプラス、マイナス（＋極・－極）を正しく装着します。
- 4 バッテリーカバーを閉じます。

注意：体温計を1ヶ月以上使用しない場合は電池を本体から取り外してください。



保管とお手入れ

保管時のお願い

- 保管するときは、グローブカバーを装着してください。
- 次のような場所に本製品を保管しないでください。破損の原因となります。
 - ・水のかかるところ。
 - ・高温・多湿、直射日光、ほこり、暖房器具のそば、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
 - ・傾斜、振動、衝撃のあるところ。
 - ・化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生する場所。

お手入れ時のお願い

- いつも清潔にしてご使用ください。
- 赤外線センサーを濡らさず、傷つけないように慎重に取り扱ってください。
- 紫外線消毒はしないでください。体温計が損傷したり劣化したりする恐れがあります。
- 赤外線センサーが汚れた場合は、乾いた柔らかい布や綿棒で軽く拭いてください。ティッシュペーパーやペーパータオルで拭かないでください。
- 赤外線センサーの汚れがひどいときは、**70%に薄めたアルコール**を湿らせた綿棒または柔らかい綿を使用して清掃し、1分以上かけて、完全に乾燥させてください。
- レンズ部を長時間アルコールに浸したり、熱湯（50℃を超える湯）で消毒しないでください。
- レンズ部を指などで触れたりすると錆びてしまうので触らないようにしてください。
- バッテリーカバー部分は防水性がありません。
- 本体の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- 本体の汚れがひどいときは、柔らかい布を水またはぬるま湯に浸し、よく絞ってから拭き取ってください。
- 本体と赤外線センサーとも水洗いやベンジン、シンナーのご使用はしないでください。

廃棄時のお願い

- 本製品を廃棄する場合は、必ずお住まいの市区町村の定めた条例に従って廃棄してください。

故障かな？と思ったら

故障説明	原因	対処方法
電源が入らない	電源が入らない	電池交換してください
	電池のプラス、マイナスが逆	電池が正しく挿入されていることを確認してください
	体温計が壊れている	販売店にお問い合わせください
測定値が低すぎる	赤外線センサーが汚れている	70%に薄めたアルコールを湿らせた綿棒を使用してお手入れしてください
	赤外線センサーと額または耳が離れすぎている	プローブカバーを額に当てるか、プローブをまっすぐに耳道に挿入するかを確認してください
	寒いところにいる	測定の前に、安定した環境(10℃～40℃の場所)で5分以上経過していることを確認してください
測定値が高すぎる	暑いところにいる	測定の前に、安定した環境(10℃～40℃の場所)で5分以上経過していることを確認してください
	エアコンやヒーターにさらされる	測定の前に、エアコンやヒーターから離れてください
 が表示された	電池残量不足	電池交換してください
 Hi が表示された	測定された体温が43℃よりも高くなっている	① 赤外線センサーに変形・破損・汚れがないことを確認してください ② 10℃～40℃の場所で使用してください ③ 販売店にお問い合わせください
 Lo が表示された	測定された体温が32℃よりも低くなっている	① 赤外線センサーに変形・破損・汚れがないことを確認してください ② 10℃～40℃の場所で使用してください ③ 販売店にお問い合わせください
 Err が表示された	環境温度が高すぎる、あるいは低すぎる	① 赤外線センサーに変形・破損・汚れがないことを確認してください ② 10℃～40℃の場所で使用してください ③ 販売店にお問い合わせください

仕様

医療機器認証番号	306AGBZX00045000
医療機器分類	管理医療機器
販売名	赤外線体温計 PC809
一般的名称	皮膚赤外線体温計・耳赤外線体温計
電源	単4形アルカリ乾電池2本(DC3V)
低バッテリー表示	電圧が $2.6\text{V} \pm 0.1\text{V}$ を下回ると画面に表示
バッテリーの寿命	1,700回以上の測定（低バッテリーインジケーターが出る場合、電池を交換してください。）
測定部位	耳・額
測定時間	1秒
温度単位	℃
測定範囲	32.0～43.0℃
最大許容誤差	$\pm 0.2\text{℃}$ （35.0 ～ 42.0 ℃の場合） $\pm 0.3\text{℃}$ （32.0～34.9、42.1～43.0℃の場合）
分解能	0.1℃
自動節電モード	約30秒
メモリーモード	過去の32回分の測定結果を記録し、照合できます。
使用環境条件	温度：10.0～40.0℃ 湿度：15～85% RH（結露なきこと） 気圧：70～106kPa
保管環境条件	温度：-25.0～55.0℃ 湿度：≤95% RH（結露なきこと） 気圧：70～106 kPa
耐用年数	5年
重量	約70g（電池含まず）
外形寸法	約155(高さ)× 38(幅)× 45(奥行)mm
付属品	収納ポーチ、取扱説明書、簡易取扱説明書、医療機器添付文書、単4形アルカリ乾電池2本

EMC 技術資料

本製品は医用電気機器を安全に使用するために要求されている EMC(電磁両立性)規格、IEC60601-1-2に適合しています。IEC/EN60601-1-2に代表されるEMC規格は、医用電気機器を安全に使用するため機器から発生するノイズが他の機器に影響を及ぼしたり、他の機器(携帯電話など)が発する電磁波から受ける影響を、一定レベル以下に抑えるように定めた規格です。

【EMC（電磁両立性）とは】

EMC（電磁両立性）とは、次の2つの事項を満たす能力のことです。周辺の他の電子機器に、許容できない障害を与えるようなノイズを出さない。（エミッション）周辺の他の電子機器から出されるノイズなど、使用される場所の電磁環境に耐え、機器の機能を正常に発揮できる。（イミュニティ）

【EMC（電磁両立性）にかかわる技術的な説明】

本製品は、EMCに関する特別な注意を必要とし、以下のEMCの情報に従って使用する必要があります。

⚠ 注意

- 取扱説明書に記載されたEMC情報に基づいて使用してください。
- 携帯および移動無線周波(RF)通信機器により本製品は影響を受ける恐れがあります。
- 指定外の付属品を使用すると機器のエミッションの増加またはイミュニティの低下を引き起こす恐れがあります。
- 本製品は他の電子機器と密着させたり、重ねた状態で使用しないでください。

製造業者による宣言 - 電磁エミッション

本製品は、以下に示す電磁環境(在宅医療用)での使用を目的としています。
本製品の患者または使用者は、このような環境で本製品が使用されていることを確認してください。

エミッション試験	適合性	電磁環境-ガイダンス（在宅医療環境用）
RFエミッションCISPR11	グループ1	本製品は、内部機能のためだけにRFエネルギーを使用しています。したがって、そのRFエミッションは非常に低く、近傍の電子機器に何らかの干渉を生じさせる可能性はほぼありません。
RFエミッションCISPR11	クラスB	本製品は、住宅環境および住宅環境の建物に供給する商用の低電圧配電系に直接接続したものを含むすべての施設での使用に適しています。

製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ

本製品は、以下に示す電磁環境(在宅医療用)での使用を目的としています。
本製品の患者または使用者は、このような環境で本製品が使用されていることを確認してください。

イミュニティ試験	IEC60601 試験レベル	適合性 レベル	電磁環境 - ガイダンス (在宅医療環境用)
静電気放電 (ESD) IEC6 1000-4-2	± 6kV 接触 ± 8kV 気中	± 6kV 接触 ± 8kV 気中	床は木材、コンクリートまたはセラミックタイル としてください。床が合成材料で覆われている 場合、相対湿度は少なくとも30%であることを 推奨します。
伝導イミュニティ IEC61000-4-6 放射RFIEC 61000-4-3	3Vrms 150kHz~ 80MHz 3Vrms 3V/m3V/ m80MHz ~2.5GHz	± 6kV 接触 ± 8kV 気中	推奨分離距離 $d = 1.2\sqrt{P}$ $d = 1.2\sqrt{P}$ 80MHz~800MHz $d = 2.3\sqrt{P}$ 800MHz~2.5GHz ここで、Pは送信機製造元による最大出力 定格を表し単位はワット(W)、dは推奨分 離距離で単位はメートル(m)です。固定の 無線送信機からの電界強度は電磁気の現 地場調査aによって決定されますが、これは 各周波数範囲bの適合性レベルより小さくす る必要があります。次の記号が表示された機 器の近くでは、干渉が発生することがあります。 

注記1 : 80MHzおよび800MHzでは、より高い周波数範囲を適用します。

注記2: これらのガイドラインは、すべての状況に対して適用するとは限りません。

a. 無線(携帯/コードレス)電話および陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM・FM
ラジオ放送およびテレビ放送のような固定送信機からの電界強度は理論的に正確な予測
ができません。固定RF送信機に起因する電磁環境を評価するには、電磁場調査を考慮す
る必要ある。本製品が使用する場所において測定した電界強度が上記の適用するRF適合
性レベルを超える場合は、本製品が正常動作するかを検証するために観察する必要があり
ます。異常動作を確認した場合には、本製品の向きを変えるか再配置するなど、追加の対
策が必要な場合があります。

b. 150kHz~80MHzの周波数範囲では、電界強度は[Vi]V/m未満である必要があります。

携帯型および移動型無線通信機器と本製品との間の推奨分離距離

本製品は、放射無線妨害を管理している電磁環境内(在宅医療用)での使用を意図しています。

本製品の患者または使用者は、通信機器の最大出力に応じて、下記に推奨している携帯型および移動型RF通信機器(送信機)と本製品との間の最小距離を維持することで、電磁干渉を防ぐことができます。

送信機の最大定格 出力電力(W)	送信機の周波数による分離距離 (m)		
静電気放電 (ESD)IEC61000-4-2	150kHz~80MHz $d = 1.2\sqrt{p}$	150kHz~80MHz $d = 1.2\sqrt{p}$	800MHz~2.5GHz $d = 2.3\sqrt{p}$
0.01	/	0.12	0.23
0.1	/	0.38	0.73
1	/	1.2	2.3
10	/	3.8	7.3
100	/	12	23

上記に記載されていない最大出力定格の送信機については、送信機の周波数に適用される式を使用して推奨分離距離d (m)を推定できます。ここでpは送信機の最大出力定格(ワットW)を送信します。

注記1：80MHzおよび800MHzでは、より高い周波数範囲を適用します。

注記2:これらのガイドラインは、すべての状況に対して適用するとは限りません。電磁気の伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

保証規定

- 1、保証期間は「**お買い上げ日から1年間**」です。
- 2、取扱説明書などの注意にしたがって正常な使用状態で故障した場合に限り、無償交換いたします。
- 3、ご使用中に故障が発生した場合は、お客様サービスセンターまでご連絡ください。
- 4、次の場合は保証の対象にはなりません。
 - (1)誤った使用、不注意による故障または損傷の場合。
 - (2)保管上の不備、ご使用者に責任があると認められる故障または損傷の場合。
 - (3)火災、地震、水害、落雷などの天変地異、電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
 - (4)弊社の許諾を受けることなく、修理や改造を行った場合。
 - (5)本保証書の提示がない場合。
 - (6)本体ラベルが剥がされていたり、読めなくなっている場合。

お問い合わせフォーム

商品の使用上ご質問やご不明点等ございましたら、下記の連絡先までお問合せください。

メディケン ヘルスケア お客様サービス

メールアドレス：support@mediken.net

受付時間9：00～17：00（祝日を除く月～金）



【製造元】 Shenzhen Pacom Medical Instruments Co.,Ltd.
(中華人民共和国)

【製造販売元】 JUST MATCH株式会社
〒162-0805 東京都新宿区矢来町111